



博物館通信

夏号



2024年7月発行 Vol.92



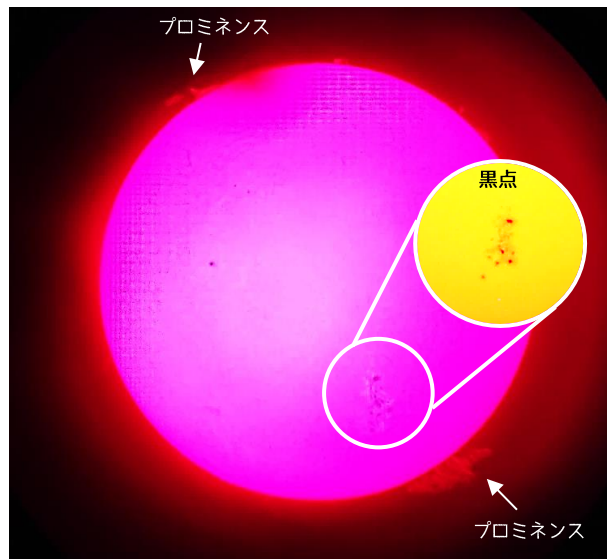
太陽がと～っても元気！！

現在、太陽は活動的でとても元気です！

太陽には、活動的になる「極大期」と活動が落ちつく「極小期」があり、約 11 年ごとの周期で繰り返されています。極大期には、黒点やプロミネンス、太陽フレアと呼ばれる強大な爆発現象の発生も多くなります。

太陽フレアが起これと地球にやってくる紫外線や X 線、太陽風などの量が増加し、通信障害や人工衛星の故障、停電など私たちの生活にも影響があります。

しかし、悪いことばかりではなく、「オーロラ」の発生回数が増え、日本でも見えることがあります！



博物館の太陽望遠鏡で撮影 (2024/5/10)



日本でオーロラが見える？



(提供：石川県柳田星の観察館「満天星」)

5月11日 石川県珠洲市真浦町(能登半島)
で撮影された低緯度オーロラ

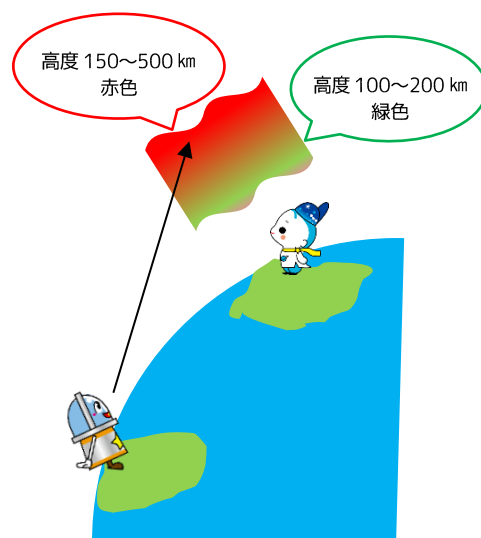
オーロラといえば、フィンランドやノルウェー、カナダなど緯度の高い国でしか見られないと思うかもしれませんが、大きな太陽フレアが起これと今回のように日本でも見えることがあります！

ただ、日本で見られるのは緑色や青色ではなく、「低緯度オーロラ」と呼ばれる赤色のオーロラが見られます。

オーロラは高度によって色が異なります。上空 100 km ぐらいでは緑や青ですが、150 km 以上では赤色に光ります。そのため、大規模なオーロラが起これと、緯度の低い日本でも、高いところで輝いている赤色の部分が見えるのです。

5月8日～15日までに大規模な太陽フレアが13回も起こりました。短期間にこれだけの回数が起こることは珍しく、これにより、11日～12日にかけて北海道、新潟県、栃木県、さらに兵庫県など広い地域でオーロラが観測されました。

肉眼ではうっすら赤色なのが見えるんだって！
浅口でもいつか見えるかなあ？





かんむり座の星が明るくなる!?

うしかい座とヘルクレス座の間に位置するかんむり座の「かんむり座T星」が2024年9月ごろまでに新星爆発を起こすのではないかと予想されています。

かんむり座T星の明るさは約10等で肉眼で見えることはできませんが、新星爆発が起こると2等まで明るくなり、1週間ほど肉眼でも見えると言われています。



7月1日21時ごろの星空 (ステラナビゲータで作成)

かんむり座T星は、太陽のように自ら輝く恒星が年老いて、暗く小さくなった「白色矮星」と、膨張して輝く「赤色巨星」の2つの星からなる連星で、赤色巨星から白色矮星に向け、水素を含むガスが流れています。水素が白色矮星にたまり続け、高温・高圧になると、核融合反応が始まり大爆発を起こします。その爆発が新しい星が突然現れたように見えるため「新星爆発」と呼ばれています。

かんむり座T星の新星爆発は、約80年ごとに繰り返し起こっています。過去2回の爆発の前に見られた星の明るさが変化する姿が数年前から観測されているため、次回はこの2024年2月～9月に起こるのではないかと考えられています。



イベント情報

※詳しくは当館HPをご覧ください

7/20
(土)

望遠鏡を作ろう!

口径4cmの組み立て式天体望遠鏡を作り、月を観察します!

8/10
(土)

夏の観望会

夏の星空を望遠鏡や双眼鏡で楽しんでみませんか

8/25
(日)

せいめい望遠鏡 テレビ観望会

せいめい望遠鏡で見ている天体をモニター越しに観望します。せいめい望遠鏡で見た天体はどんなふうに見えるのかな?



プラネタリウム夏番組



「LOST ISLAND DINO-A-LIVE」

絶滅したはずの恐竜が出没するといわれる LOST ISLAND。何が起きているか、自分の目で目撃せよ!

恐竜の特徴や生体を調査する中で、次々と訪れるピンチを乗り越えられるか!

リアルな恐竜が登場するライブショー「DINO-A-LIVE」が、プラネタリウムにやってくる!

岡山天文博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>